

防災週間に考えるべき「**空気**の防災」

国内初 シェルター用換気システム「ATバリア150」

火災・煙・臭気・感染症…空気中の脅威から命を守ろう！

2025年8月20日(水)13:00～記者会見

～実機デモをメディアに初公開します。取材撮影可能です～

煙除去の清浄デモをご覧ください



近年、地震や津波に備える意識は高まっていますが、災害時に見過ごされがちなのが「**空気**の危険」です。来る防災週間（8月30日～9月5日）を前に、**プロテクトアーツ株式会社**（ヤブシタグループ本社：北海道札幌市、代表取締役：小熊正輝）は、国産技術を結集して新開発した災害時の空気の防災システム「ATバリア150」に関するメディア公開説明会及び見学会を開催いたします。



【メディア公開説明会・見学会のご案内】

開催日 2025年8月20日(水)

場 所 北広島市大曲工業団地 2-5-1
株式会社アース・ネット

時 間 13:00～15:00

スケジュール ①13:00～説明会

- ・「ATバリア150」製品説明
- ・共同開発者 名古屋大学大学院工学研究科
朝倉裕介准教授による技術説明（オンライン）
- ・質疑応答
- ・写真撮影

②14:00～実機見学会

※デモンストレーションあり

※お申し込みが多い場合は①②入替えの二部制を検討します。
別日対応を希望される場合はご相談ください。

【インタビュー対応可能者】

- ◇ヤブシタホールディングス株式会社 代表取締役社長 森 忠裕
- ◇プロテクトアーツ株式会社 代表取締役 小熊 正輝
- ◇名古屋大学大学院工学研究科 朝倉 裕介 准教授

【ご提供可能素材】◆ATバリア紹介動画 ◆製品チラシ

現在、一酸化炭素除去もできる換気装置を開発中で来春発売開始予定。
一酸化炭素除去ができる換気装置は**世界初**となります。

取材のお申し込みは
こちらのQRコードから



【本件のお問い合わせ先】

運営受託会社 株式会社ゲート
成田 m.narita@gates.co.jp

ATバリア開発の背景

政府が推進する地下シェルター整備

近年、激甚化する自然災害や国際情勢の不安定化によるテロや武力衝突のリスクの高まりを受け、国民の安全確保のための地下シェルター整備が喫緊の課題となっています。**政府が地下シェルター整備を推進**する上で、避難者の生命と健康を守る高性能な換気システムの導入は不可欠であり、その安定供給体制の確立が求められています。

海外製品依存からの脱却

国内で利用可能なシェルター用換気システムの多くは**海外製品に依存**していましたが、空調・冷熱部材トップシェアを有するヤブシタグループの総合力を結集し、名古屋大学大学院工学研究科の技術協力により、**国産初のシェルター用換気システム「ATバリア150」の開発に成功しました。**

防災の“最後の穴”とも言える「空気の備え」

火災による死因の多くは一酸化炭素中毒や煙の吸引によるものであり、また避難所では悪臭や感染症が深刻な課題となっています。ATバリア150は、これら火災・煙・臭気・感染症など、**空気中の脅威から人々の命を守る「空間防衛型・換気システム」**です。防災の“最後の穴”とも言える「空気の備え」に挑む、**次世代の防災インフラ**として、その全貌をご紹介します。